

令和6年度 第5回 市民活動支援センター運営委員会

	令和6年9月12日(木) 18時30分～20時40分							
会場	市民プラザあくろす2階 はばたき							
運営委員	会場	村上 むつ子	会場	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	会場	毛利 勝	欠席	小松 明日香	会場	原島 秀一	会場	石井 洋子
	会場	阿部 秀樹	会場	浜本 雅樹	会場	石正 房江	会場	安藤 雄太
	会場	佐竹 澄子	会場	吉田 真也	会場	松谷 知彦	欠席	田村 敦史
	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ						
オブザーバー	会場	東京都社会福祉協議会、羽村市社会福祉協議会、稲城市社会福祉協議会、多摩市社会福祉協議会各新任職員						
事務局	橋本、北島、鈴木							

**1 1分間近況報告（各委員）18:30~19:20（50m）**

各委員より近況報告

**2 【報告事項】19:20~19:40（20m）**

資料1

コミュニティルームについて

【委員長】レジメの報告事項にあるコミュニティルームについて、担当委員からお願いしたい。

【委員】市民活動支援センターコミュニティルームと記入のある資料をご覧いただきたい。コミュニティルームはご存知か。ここは今年度から、市民活動支援センターの一室となった。それまでは地域が管理している自治会館（ふれあいの家）のようなイメージだった。資料を基に説明する。部屋の広さは約30㎡、バリアフリートイレや、給湯室があり、市民活動支援センターへ予約すれば、使用することができる。資料の写真を見ていただくとわかるが、机や椅子も置いてある。公共施設のため、飲酒、喫煙、政治、宗教、営利な目的には使用できないルールがある。防音については、遮断されているが、壁が薄いので、周りに影響がある。せっかく市民活動支援センターの一室となったので、他の使い道もあるといい。資料の《こんな使い方どうでしょうか》にも記入したが、子どもや障がい者にも使ってもらえるといい。隔絶されているので、とても静かだ。駅前広場も近く、災害時には、緊急の対応できる。この運営委員会の中で、使用についてのご意見を伺いたい。協働推進課と市民活動支援センターとで、月1回の連絡会議を開いている。今後このコミュニティルームを、たくさんの方に使ってもらえるような、仕組みを考えていきたい。どうやったらPRできるか、各グループで話し合い、ご意見いただきたい。

【委員長】それでは5分程、グループワークをしていただきたい。

【3グループの意見】

(高齢者グループ)

- ・鏡、ヨガマットなどの設置
- ・券売機で備品の有料貸し出し
- ・入口の看板が見にくい（表示を見やすくしたらどうか）
- ・プロジェクター、モニターの設備に寄り、映画上映が可能
- ・託児スペース、ワーキングオフィス
- ・トレーニングマシン、鉄アレイの設置
- ・倉庫として使用

(子どもグループ)

- ・お誕生日会
- ・料金がとても安い
- ・申し込みをネットで出来るように、当日でも使用可能にして欲しい
- ・センターに呼び込む仕掛け作り

(50代グループ)

- ・ミーティング、自習スペースの活用
- ・使い方がわかりにくい、わかるようにお知らせして欲しい
- ・扉（入口）がわかりにくい
- ・個人利用でもよいのか？

【委員】入りやすさを売りにすると良いのではないか。

【委員】貴重な意見をいただいた。皆さまから出たご意見を踏まえながら、連絡会議を通じて、コミュニティルームをPRしていきたい。

【委員長】では、協議事項に移る。

### **3 【協議事項】 19:40~20:30 (50m)**

### **資料2**

#### **えんがわフェスタへ向けてのグループ協議**

【委員長】7月からえんがわフェスタ部を作った。今日までに2回打合せを行った。7月の運営委員会のときに、それまで話してきた内容をまとめてフェスタ部で大体の枠組みを決定した。今日からその中身を進めていきたい。開催日は令和7年1月19日（日）。4か月の準備期間がある。配布した資料は、フェスタ当日のタイムスケジュールだ。9時~11時まで準備を行う。1部は11時~開始し、餅つきを予定している。餅つきがアイスブレイクとなる。昼食を挟み、和やかな雰囲気のまま、午後に入っていければいい。終了は16時を予定。午後がイベントの本番だ。2部は13時~子ども、高齢者、50代の各グループが3つのテーマについて発表する。子どもグループは「孤立+食事」、高齢者グループは「孤立+豊かな老い」、50代グループは「孤立+地域活動」についてだ。3グループの共通点として、1人（孤立）になってしまう危機感をテーマにしつつ、3つの内容について、グループワークし

ていきたい。資料2の概念も確認いただきたい。手法として、運営委員が寸劇で発表する。発表を通し、課題を投げかける。

第3部はグループワークを行い、最後に共有を行うという流れで考えている。イベントの規模は約60名、運営委員を含めると恐らく全体で80名強というようなサイズのイベントになるだろう。ただ餅つきに関しては、先着希望制のため少人数の予定だ。資料2、1ページ裏をご覧ください。タイトルについて、フェスタ部からの案だが、今年のBetter-together がとても良いという話が出ている。今回もつながりを考えた時に、このタイトルが良いという話が出た。えんがわフェスタ2025も、Better-together 調布で誰ひとり取り残さない（SDGs で使われている）は、地域のサイズだと実現できそうな、身近に感じるタイトルだ。つながりや孤独に対する危険性を考えた時、このタイトルでイベントが開催できたらと思う。それを念頭に置き、第2部で、それぞれのグループがどんな内容の劇をするのか、どんな課題を投げかけるのかをじっくり話しあってほしい。このテーマに関心のある個人が参加するだろう。何か学びがあり、しっかり持ち帰ってもらえるといい。

グループワーク50分。

**【委員長】** 今日グループワークはここで終了とする。それぞれのグループにフェスタ部がいる。今日の話をもとめて、来週のフェスタ部会に持ち寄って欲しい。なんとなく感触はつかめたのではないかと。引き続き、どのような形で取り組むか考えておいていただきたい。えんがわフェスタの話については、これで終了とする。

**【協議結果】** フェスタの内容について、各グループで話し合った。

内容については、次回運営委員会でも継続して協議を行っていくこととした。

#### **4 【その他】 20:30~20:40(10m)**

##### 共有事項

##### ① チャリティーウォークについて

**【委員長】** チャリティーウォークが10月26日（土）に開催する。今年は国領駅前をスタート→深大寺→神代植物多様センター→国領駅前に帰ってくる、8kmのウォークだ。9月20日にチラシが届く。週明けに小学校に配布する。次回の運営委員会で、お配りできると思う。ご都合が合えば、是非参加いただきたい。次はサマーボランティアの報告をお願いしたい。

##### ② サマーボランティアについて

**【事務局】** サマーボランティアの参加件数は360件。内訳として体験が352件、寄付が8件。昨年度は249件だったため、役30%増加している。例年と比較し、小学生男児の参加が大幅に増加した。活動報告ブックを9月下旬から10月初旬にかけて完成させ、参加者、活動先団

体、市内学校に配布していく予定。課題は1点ある。参加者が増え、約50ページある冊子の送付費用の不足を懸念するが、参加者数が増えたことは嬉しい課題だ。

【委員長】続いて、まち活フェスタについて、お願いしたい。

③ まち活フェスタについて

【事務局】9月9日（月）に第1回実行委員会が開催された。実施は3月2日（日）だ。これから全9回の会議がある。嬉しいことに5人の新しい実行委員が加わってくれた。その他はいかがか。

④ 居場所探訪プロジェクトについて

【委員】居場所探訪プロジェクトの続きを考えているが宜しいか。第2章、第1弾として、えんがわ文庫を取り上げた。立ち上げや運営について、わかりやすく、1ページの記事にしている。是非お読みいただきたい。

5 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

10月19日（土）15時00分～17時00分 第6回運営委員会

【委員長】では、本日の運営委員会を終了する。